

## となりのSDGs～その他のいろいろな取り組み例～③

こんにちは!肌寒さが徐々に深まるこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか?  
私は極度の寒がりですので、日に日に着膨れています。まんまるになっていく曾根を見かけてもそっとしておいてくださいませ(笑)  
さてさて今回は、取り組み事例の3回目となります。学校→企業と続きましたので、最後に行政(主に愛知県や半田市)が取り組んでる事柄を紹介していきますね。  
行政の取り組みっていうと、あまり身近に感じないかもしれません、実は私たちがこのまちで生活していくために、とっても大切な仕組み作りなんです。私たちも行政の取り組みに少しづつでも意識してみましょうね。



一般社団法人SDGs design代表理事  
SDGsビジネスコンサルタント  
株式会社半田工業所 取締役  
曾根香奈子 氏



### 「あいち地域循環圏形成プラン」を知ろう!

今、愛知県が取り組んでいる「SDGs登録制度」は、SDGsに取り組んでいる企業や団体がそれぞれの活動を発表し、共有できるような仕組みを作る前段階のようなもの。愛知県環境基本計画や廃棄物処理計画、「循環型社会形成推進基本法」との整合性を保つつつ、と言ってもちょっと難しいのでまとめるところです。

- ①SDGsを使って、持続可能な社会を作っていくこう!
- ②リユース、リデュースも含めて循環する仕組みを育てよう!

「地域循環圏」というのは、私たちの地域がもつ「強み」や「持ち味」を十分に活かし、これまで培ってきた資源循環の取り組みをどんどん加速・発展させ、愛知県内のそれぞれの地域で「循環の環」がたくさん広がるといいよね!っていう仕組みづくりのことです。これは壮大で大変だ!!って驚かれるかもしれません、具体的には私たちが生活している半田市を「持続可能な企業を増やし、半田市の人口を増やしたい」というゴールに向かって少しづつでも前に進むための取り組みなんです。



半田市のサブサイト

「地方創生の要」は、私たちの住む地域が愛知県や日本の補助金などに頼らなくても持続していけるよう、循環型社会の造成を目指しているわけです。そのためにはわたしたち市民や企業からの発信や運動をはじめとした意識の改革が大切になってくるんですよ。難しい話も、SDGsと紐づけてみれば「未来のためにいま自分達ができるこ<sub>と</sub>」を行っていたんだなあと気づきます。まだまだできることはたくさん!あなたの身の周りでも少しづつでも周りを巻き込みながら取り組んでいただければと思います。



### 曾根さんの今月の一言。

## さあ、一歩を動き出しましょ!

さまざまな地域、さまざまな団体が行ってきた取り組みが、少しづつ少しづつ形を表してきましたよ。まだまだ2030年までに持続可能な社会へシフトチェンジするために動き出しましょうね。

